

「小川内」便り 第13号 平成23年8月

特定非営利活動法人 小川内Oプロジェクト (理事長 渡辺眞作)



事務所 〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小川内4579-3

安佐小川内集会所内

TEL&FAX 082-835-0831

ホームページURL <http://ogauchi.web.fc2.com/>

農村体験ツーリズム特集号

私たちの住む日本は地球の位置と公転の関係で春夏秋冬があり、生き物にとって非常に良い環境が与えられています。この大きな力で生かされている環境を与えられています。

春に植えた農産物の苗は梅雨で十分な水を確保され、夏の太陽エネルギーをいっぱいもらって大きく成長、秋に果実という恵みを与え、冬は春に備え一休みします。

このサイクルにより多くの生き物が共生しながら、又食物連鎖しながら「いのち」を繋いでいます。これが見えるのは田舎で、小川内に住んでみてそれを実感します。

都会に住んでおられる皆さま、大自然に生かされていることを実感し、自然への畏敬の念や感謝、喜び、楽しさ、時には厳しさも・・・小川内のグリーンツーリズムで味わって下さい。この秋はそうした思いで農村体験ツーリズムを多く企画しました。

この秋、「源快集楽・小川内」には楽しみがいっぱい！

小川内の先人は、急峻な地形を棚田に変え、汗と知恵で昭和30年代まで2000人以上の村人を養う農産物生産基盤を整備し、厳しい時代環境の中で生きていく力（暮らしの知恵や技）とノウハウを蓄積してきました。このDNAは今に引き継がれ、米や野菜作り、その加工や保存技術（漬物づくり等）、モノづくり、炭焼き等多くの分野の名人・達人と称される人を生みました。又、この過程で歴史と農村・農業文化が生まれました。

今回の農村体験ツーリズムは、こうした小川内の名人・達人とのふれあい、交流を通じて生きる力と歴史と農村文化に触れていただき、生きる勇気と感動を共有、それが参加者の明日へのエネルギーと豊かな暮らし、里ライフ創造につながることを願っています。

この内容はホームページでもご覧いただけます。

尚、柿もぎ体験は「市民と市政」9月15日号で募集案内がされる予定です。

※ 「源快集楽」は、「広島市の源となる街、快よい暮らしができる街、人々が集まる街、楽しい街」の文字を合成した当法人のコンセプトです。

「限界集落」と言うマイナスイメージから精神的に脱却する願いを込めています。

小管内農産物市

自然豊かな小管内で採れたての新鮮、安全、安心な農産物を販売します。

小管内の生産農家と消費者の皆様が、対面販売を通じて楽しい会話や食と農に関する関心の深まり、交流の輪が広がることを期待しております

1. 日時 平成23年10月9日（日）9：30～15：00
2. 場所 広島市青少年野外活動センター特設会場
3. 出品物 新米、採れたての野菜類、クリ、加工食品、小管内特産即火炭「弥太郎君」等

農村体験ツーリズム 柿もぎ体験

小管内には多くの柿の木があります。しかし高齢化が進み、多くの柿は放置したままです。これがツキノワグマを呼び寄せることになり、この対策として平成16年から都市住民の参加で「柿もぎ隊」イベントを5回実施（平成18年は集中豪雨、22年は猛暑による不作で中止）柿のもぎ取りと交流会を行いました。

今年から生産農家の庭先で直接もぎ方や吊るし柿の作り方を教わりながら、対話と交流を通じて田舎の暮らしや文化を体験していただく、農村体験ツーリズム柿もぎ体験に衣替え、実施することにしました。多くの都市住民の皆様一人でも多く参加していただけるよう、今年から2回に分けて実施します。

昨年は柿が不作のため中止しましたが、今年は豊作のようです。ご期待下さい。

受け入れ数を50組とさせていただきます。

1. 開催日

第1回目 平成23年10月23日（日）10：00～15：00

第2回目 平成23年10月29日（土）10：00～15：00

何れも雨天中止、少雨決行

2. 日程

10：00 受付 オリエンテーション、班分け（小管内集会所）

その後、各農家に移動

10：30～12：00 農家の指導を受けながら柿もぎ体験

12：30 昼食

13：30～14：30 農家の指導で吊し柿の作り方講習

終了後現地で解散

3. 場所

小管内地区内の農家（集合は小管内集会所、班分け後案内します）

4. 参加費（当日受付にお支払下さい）

1組（家族）3,000円、別途、1人につき550円（昼食代、保険料）

（柿のもぎ方、吊るし柿の作り方講習代、お土産として約10kgの柿を含みます）

5. 申し込み方法、締切

希望日（第1回目か2回目）及び住所、氏名、年齢、連絡先電話番号を組（家族）単位で明

記し、平成23年9月30日（土）までに、はがきかFAXで、NPO法人小河内Oプロジェクト「柿もぎ体験係」宛に送ってください。電話による受付はしません。

6. 当選者

参加希望者が定員をオーバーした場合は抽選します。

日程が偏った場合、相談の上調整させていただく場合があります。

参加していただく当選者には10月上旬ご連絡します。

尚、現在柿提供農家の受け入れを調査中ですが、受け入れが不調に終わった場合、昼食及び吊し柿の作り方講習は小河内集会所で行うことを予め、ご了承下さい。

小河内集会所で行うことを予め、ご了承下さい。

農村体験ツーリズム ゆずもぎ体験

小河内には多くのゆずの木があります。しかし高齢化が進み、多くは放置したままです。

今年から生産農家に直接もぎ方や加工の仕方を農家の庭先で教わりながら、対話と交流を通じて田舎の暮らしや文化を体験していただく、農村体験ツーリズムゆずもぎ体験を新たに実施することにしました。田舎の香りがするゆずもぎ体験に参加、直接もぐ楽しみを味わって下さい。尚、下記の通り当日は牛頭山登山も行いますので、ゆずもぎ体験参加者は登山終了後に行きます。登山の関係で時間が前後する恐れがあること予めご承知おき下さい。

受け入れ数を25組とさせていただきます。

1. 開催日

平成23年11月19日（土）14:00～16:30

雨天中止、少雨決行

2. 日程

14:00 受付 オリエンテーション、班分け（小河内集会所）

その後、各農家に移動

14:30～15:30 農家の指導を受けながらゆずもぎ体験

15:30～16:30 農家の指導でゆず加工の作り方講習、終了後現地で解散

3. 参加費（当日受付にお支払下さい）

1組（家族） 1,500円 1人につき別途50円（保険料）

但し、登山された方の保険料は登山とセットになりますので不要です。

ゆずの加工の仕方の講習代、お土産として約5kgのゆずを含みます。

4. 申し込み方法、締切

住所、氏名、年齢、連絡先電話番号を組（家族）単位で明記し、平成23年9月30日（土）までにはがきかFAXで、NPO法人小河内Oプロジェクト「ゆずもぎ体験係」宛に送ってください。電話による受付はしません。

5. 当選者

参加希望者が定員をオーバーした場合は抽選します。

参加していただく当選者には10月下旬ご連絡します。

尚、現在ゆず提供農家の受け入れを調査中ですが、受け入れが不調に終わった場合、昼食及

び吊し柿の作り方講習は小河内集会所で行うことを予め、ご了承下さい。

小河内集会所で行うことを予め、ご了承下さい。

秋のひと時を小河内の歴史・文化、伝統芸能でお楽しみ下さい

(1) 養山八幡神社秋季大祭前夜祭、奉納芝居「昭和劇団」観劇と神楽

奉納芝居

小河内の住民が演じる笑いあり、涙ありの素人芝居です。昭和3年に村に楽しみを、と村の青年団有志が村芝居「昭和劇団」を結成、80年余の歴史があります。

1. 日時 平成23年11月5日(土) 19:30～
2. 場所 小河内集会所2階大ホール
3. 入場料 無料(花興業です、寄付大歓迎)

奉納神楽

1. 日時 平成23年11月5日(土) 20:00～
2. 場所 養山八幡神社拝殿(小河内集会所から徒歩約5分)
3. 入場料 無料(寄付大歓迎)

養山八幡神社秋季大祭吹き囃子行事

江戸時代後期に始まったといわれ、200年余の伝統を誇る広島市重要無形文化財指定の小河内最大の行事です。笛や太鼓、鐘の音に合わせ、伝統衣装をまとった稚児が太鼓を打ちます。それを棒振りや鬼(獅子)、天狗(鼻タカ)、神輿、屋台が盛り立てます。古式豊か、荘厳な祭りをご堪能下さい。

1. 日時 平成23年11月6日(日) 12:00神事、13:00より吹き囃子行事
2. 場所 養山八幡神社(小河内集会所の近く、徒歩5分)

(2) 牛頭山登山

約500年前の戦国時代、小河内黎明期に小河内城主の館として築城されたとされる牛頭城、今その城跡がある牛頭山(689m)は小河内のシンボリック的存在で多くの人に親しまれています。約1時間30分で登れる比較的手ごろな山です。ガイド付きです。

当時安芸の国を統治していた武田氏の居城があった武田山を始め、瀬戸内海、宇品のプリンスホテル、宮島、そして北方面には中国山脈が見渡せる、大パノラマの世界が魅了します。尚、当日は下山後、別記の通り希望者はゆずもぎ体験をします。

1. 日時 平成23年11月19日(土) 9:30～14:00
雨天中止、少雨決行
2. 日程 9:30 小河内集会所集合、受付、オリエンテーション後登山(明見谷コース)
11:30～12:30 頂上で昼食、休憩後下山
14:00 小河内集会所解散

ゆずもぎ体験参加者は残り、ここで受付を済ませてください。

3. 申し込み方法、締切

平成23年10月31日までに住所、氏名、年齢、連絡先電話番号(携帯のある方は携帯番号)を記入、はがきかFAXでNPO法人小河内Oプロジェクト「牛頭山登山係」宛に

送ってください。尚、安佐公民館でも受け付けします。何れも電話による受付はしません。

5. 参加費 550円 保険料含む（当日受付にお支払下さい）

6. 持参物 お弁当、飲みもの、帽子、タオル、登山できる服装で参加下さい

農村体験ツーリズム 漬物づくり講習会

地元産のダイコンを使用して農村の保存食の代表である漬物づくりを小河内の漬物づくり名人が指導し、都市住民に体験してもらう講習会です。

食文化と技の継承を図り、都市住民との交流により地区の活性化を図ります。

受け入れ数を10組とさせていただきます。

1. 日時 平成23年12月3日（土）10:00～14:00

2. 場所 小河内集会所

3. 申し込方法、締切

平成23年10月31日までに参加者の住所、氏名、年齢、連絡先電話番号を記入

下記にはがきかFAXで。NPO法人小河内Oプロジェクト「漬物づくり講習会係」宛に送ってください。尚、安佐公民館でも受け付けします。電話による受付はしません。

4. 参加料（当日受付にお支払下さい）

1組 2,000円 別途1人につき、550円（昼食代、保険料）

5. 参加者特典・お土産

農家から浅漬け、たくあん漬けの仕方を教わります。

たくあん用にする干したダイコン（10本）を差しあげます。

～ ツーリズム カレンダー ～

ご案内した農村体験ツーリズムの開催日などを一覧表にしています。

日付	ツーリズム名	場所	申込期限
10月9日(日)	小河内農産物市	野外活動センター 特設会場	—
10月23日(日)	農村体験柿もぎ体験①	各農家宅ほか	9月30日
10月29日(土)	農村体験柿もぎ体験②	各農家宅ほか	9月30日
11月5日(土)	奉納芝居「昭和劇団」、奉納神楽	小河内集会所ほか	—
11月6日(日)	秋季大祭吹き囃子行事	養山八幡神社	—
11月19日(土)	牛頭山登山	牛頭山	10月31日
	農村体験ゆずもぎ体験	各農家宅ほか	9月30日
12月3日(土)	農村体験漬物づくり講習会	小河内集会所	10月31日

割り箸炭を利用した着火剤、「弥太郎君」販売協力をお願い

当法人は小河内に働く場の確保と経済的発展を図り小河内を元気にしよう、と使用済みの割り箸を回収、雑木と一緒に炭焼きした割り箸炭に、枯杉葉と木炭を1袋にセットしたものを、バーベキュー等の着火剤として商品化・販売しております。

安価、経済的、便利、しかも環境にも貢献する実用新案の商品で、一度使用された方から便利だ、

とご好評をいただいております。

会員、応援団の皆さま、バーベキューをされるときは、是非お試しください、又お知り合いの方にもご紹介、PRしていただきますようお願い致します。又、販売店やこんなところに売ったらどうか、等の情報についても教えて下さい。

1、現在下記店舗で販売中です。

①・ホームセンター・ナフコの広島県内全店舗と山口県や九州の一部の店舗。

店舗のアウトドアの木炭やバーベキュー商品の中にあります。

②・大場商店（安佐北区安佐町小河内708-1）

③・玉田商店（安佐北区安佐町小河内3429-4）

④・増野商店（安佐北区安佐町小河内6035-1）

⑤・飯室のバイク店 オートサイクルまるもと（安佐北区安佐町飯室3208-1）

⑥・緑井のお好み焼き店 薫風（安佐南区緑井8-2-25）

⑦・可笑屋（広島市安佐北区可部3-34-1）

2、商品名

「弥太郎君」販売価格 1袋 400円（消費税込）

尚、お問い合わせは電話082-835-0831（小河内Oプロジェクト）へお願いします。

**「割りばし」から
作った炭です！**

エコで日本を元気にしよう！

簡単に着火OK！
袋のまき火をつけて軽くあおぐだけ！
誰でも簡単に着火できます！

バーベキューに最適！
これだけで火持ち約1時間！
しっかりとバーベキューが楽しめます！

実用新案登録済商品

**一発着火・割り箸木炭
「弥太郎君」**

この商品はNPO法人、
「小河内Oプロジェクト」が製造しています。

編集後記

この便りは当会会員や小河内とご縁のある方、団体にお送りしています。

小河内を皆さまの第二の故郷、心の故郷として親しみを感じていただけるよう日本一の元気な田舎「源快集楽・小河内」を目指しております。小河内の豊かな自然、農業、歴史、文化を守り、そして元気になるよう新産業の育成や都市住民との交流を行っております。こうしたまちづくりに、皆さまにはその「小河内応援団」の核となって一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。自然豊かな、そして農と食のある小河内で新しい生き方、豊かな生き方「里ライフ」創造に、この秋は小河内でそれを体験にしてください。夏の猛暑も峠を越したようですが、体調管理をしっかりされお元気で、又お目にかかりましょう。(S)